

20年後に残すもの 受け取るもの

参加
無料申込
不要

～次世代に過度な負担を残さない公共施設を目指して～



全国的な人口減少、少子高齢化に伴い、四日市市の財政状況も今後、厳しい時代を迎えます。一方で本市の公共施設は昭和40年、50年代に建てられたものが多く、一斉に建替えの時期を迎え、多額の費用が必要となります。

そんな中、四日市市では子育てや福祉など、暮らしやすいまちとして行政サービスを維持していけるように、20年後の未来を見据え新公会計の導入による財政把握や、公共施設のあり方の見直しに取り組んでいます。

本講座では公共施設の全国的な状況や四日市市の取り組みについて、分かりやすく解説いたします。

講座内容

基調講演

公共施設マネジメント-「拡充」から「縮充」への発想転換

講師：東洋大学客員教授 南学

四日市市の新地方公会計

講師：四日市市会計専門監 吉田 太紀子

四日市市における公共施設適正化に向けての取り組み

講師：四日市市行財政改革課 技師 森 大介

基調講演講師紹介

東洋大学客員教授 南学

東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻客員教授。東京大学教育学部卒業後、横浜市役所に入所。在職中にカリフォルニア大(UCLA)大学院への留学派遣等を経て、2000年に静岡文化芸術大学助教授に転職。以後、横浜市立大学、神奈川大学等を経て、現職。

自治体の経営・マネジメントを研究。多くの自治体のアドバイザーを務める。「ポストコロナ社会の公共施設マネジメント」(学陽書房)など著書多数。



日時

令和4年

3月21日(月・祝日)

午後1時30分～午後4時(開場 午後1時～)

定員

先着100名(申込不要)

場所

四日市市文化会館 2階第3ホール

(〒510-0075 三重県四日市市安島2丁目5-3)



近鉄四日市駅、
あすなろう四日市駅から
徒歩10分

お車で越しの際は、文化会館
駐車場(無料)をご利用ください。
台数に限りがありますので、公共
交通機関でのご来場にご協力を
お願いします。

注意事項

●主催者の判断によりやむを得ず中止または延期する場合があります。 ●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。 ●当日、体調不良の方や感染リスクを心配される方はご参加をご遠慮ください。